実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和７年度
助成団体	公益社団法人日本一輪車協会
事業細目名	スポーツ活動推進事業
事業名	2025 全日本一輪車競技大会(ソロ演技部門)
助成金額	584,000 円

令和 7 年度スポーツ団体スポーツ活動助成（スポーツ教室、スポーツ大会等開催）で公益社団法人日本一輪車協会が行っている「2025 全日本一輪車競技大会(ソロ演技部門)」の実施状況について調査を行いました。

本大会は、一輪車を用いたソロ演技を競う大会であり、表現力に重点を置くアーティスティック部門と、運転技術を中心に評価するテクニカル部門の 2 部門から構成されます。ビデオ審査を通過した 87 名の選手が年代別に出場し、決められた時間内で音楽に合わせて構成した演技を行い、一輪車の操作技術、表現力、芸術性を総合的に競う大会です。

今回の調査では、「クラスDアーティスティック部門［女子高校生以上の部］」と「クラス E アーティスティック部門［男子の部］」を視察しました。

■助成の意義

くじ助成を活用することにより、参加費を安価に設定することが可能となり、参加者の大半を占める未成年である選手の負担を軽減することができました。その結果、ペアを組めない選手や個人で活動している選手も参加しやすくなり、事業の推進に貢献しているとのことです。また、本大会は自己負担による運営が中心であるため、助成がなければ開催が困難な状況にあったとのことです。また、開催地である静岡県をはじめ、専門知識を有する審査員及び引退した選手を始めとするボランティアの多大なる協力により、大会を無事に運営することができているそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

大会の円滑な運営に向けて、会場は 1 年前から確保し、早期の段階から準備を進めているとのことです。特に、本大会では選手が衣装や演技に使用する道具など、多くの荷物を持ち込む必要があるため、十分な駐車スペースを確保できる会場であることが重要となります。都市部では会場だけでなく、会場近くの広い駐車場の確保が難しいことから、アクセス面と会場条件の双方を考慮し、都心と地方の中間に位置する静岡県が開催地として選定されているそうです。また、地元自治体からの協力も得ており、地域との連携強化にもつながっているとのことでした。さらに、ホームページや SNS を活用し、大会情報の積極的な発信を行っています。これにより、参加者・関係者への情報提供の効率化および周知効果の向上が図られているそうです。

■その他

以前は得られていた協賛金がなくなった中で、助成金を活用する以外にも、少しでも選手及び協会の負担を軽減するために、選手の宿泊費がかからない時間に大会のスケジュールを調整し、終了時間に影響が出ない範囲で競技時間を繰り下げるなどの工夫が行われているとのことでした。

■所感

大会に参加された選手の皆さんは、いずれも高度な技術力と豊かな表現力を備えており、その演技は大変素晴らしく、心を動かされました。日頃の練習の成果が演技の細部にまでしっかりと表れていると感じました。また、演技で使用する楽曲は選手自身で選曲し、衣装もご家族の方々が制作されていると伺いました。競技前は自身の番が近づくにつれ緊張が高まるものの、協会スタッフ及びボランティアの方との会話によって気持ちがほぐれ、結果として演技に集中でき、その成果が演技にも反映されている様子が見受けられました。選手、家族、ボランティアをはじめ、多くの方々の協力によって大会が成り立っていることを、改めて強く感じました。本事業に参加した選手の今後のさらなる活躍と、一輪車競技の一層の発展および普及を期待しております。

（令和 7 年 11 月 23 日往査）

（写真）2025 全日本一輪車競技大会(ソロ演技部門）の様子



